

豊福小校長室より



< 荒天時、車で正門から入られる保護者の皆様へお願いです >

特に、強い風雨の日は、正門前からいつもより多くの車が入ってきます。何より子供の安全確保と渋滞や接触事故を避けるため、車の流れを一定にする対策（**一方通行で、学童保育横から出る**）をお願いしています。これから梅雨の時期を迎えます。何卒、御理解と御協力をお願いします。また、学校の敷地内は、くれぐれも徐行をお願いします。

※カラー版は学校ホームページに掲載中 令和6年5月22日 第5号 校長 志水英子



子供たちの生命を守り、安心・安全な学校生活となるため

自然災害時（大雨、落雷、積雪等）の学校対応について

自然災害時等の発生により、児童の登下校に危険があると考えられる場合の対応には、**臨時休業(休校)、授業打切(⇒一斉下校)、学校待機(⇒一斉下校)、保護者引き渡し**が考えられます。このことについて、本日付で保護者の皆様に「お知らせ」を配付しました。是非、御確認ください。学校の対応については、児童の安全を確保することを第一に考え、判断します。

他にも、子供たちの登下校において、安全面で注意が必要な場面があります。それは、**①Jアラートを通じて緊急情報が発信された場合、②不審者を含む事件・事故が発生した場合等**です。緊急対応の連絡は、「安心メール」で行います。

※未読を防ぐため、家庭内で複数登録されることをお勧めします。

< 保護者の皆様へ > ~お知らせします~

雨などの理由により保護者が送迎された場合に起きた事故については、熊本県PTA共済の対象外となります。熊本県PTA教育振興財団が車による送迎を認める場合は、

①学校が送迎をお願いした場合 ②子供がけがや病気をしている場合 ③車による通院が必要な場合 ④特別な事情であらかじめ保護者が学校に連絡し学校が認めた場合 です。よろしく申し上げます。

豊福小学校の子供たちに身に付けさせたい力

1 よりよく関わりつなぐ力



今日は、「よりよく関わりつなぐ力」について考えてみます。本校では、この力を身に付けさせるために、以下の6点を重点的に指導しています。1つずつ紹介していきます。

まずは「1 明るいあいさつと返事」についてです。

- 1 明るいあいさつと返事
- 2 適切な受け答え（相手を見る、言葉を返す）
- 3 「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えること
- 4 相手意識をもった「揃えること」（トイレのスリッパ、時間）
- 5 相手意識をもって発表し、学び合う態度
- 6 よく観る、よく聴く態度

本校で今進めているのは、「2言あいさつ」です。

これは、「おはよう」「こんにちは」というあいさつに、「〇〇さん」とか「今日、一緒に遊ぼうね」「いい天気ですね」などの“もう一言のあいさつ”を付け加えるというものです。この「2言め」は、必ずしも言葉でなくてもよく、あいさつの際に、笑顔であること、相手に手を振ること、このようなものでもよいのです。

私は、「2言あいさつ」とは、あいさつという言葉、行動に『心を表す、心を含める』ということであると考えています。よりよく関わりつなぐ力を育む具体的な取組です。